

*2021年みやぎ憲法行事参加企画 *劇映画「伊藤千代子の生涯」今年秋クランケイン！

こころざしつつたふれし少女（おとめ）よ…仙台で学び、新思潮に出会う

伊藤千代子(24歳)の生涯



戦争と憲権利の時代、反戦と主権在民を掲げ
・・・戦いに斃れた、若い女性の真実の物語

昭和初期、治安維持法下の激動の時代。伊藤千代子は諏訪で、土屋文明の教育を受ける。諏訪高女卒後、仙台の尚絅女学院、更に東京女子大に学ぶ。そして、国民の幸せを願い、反戦平和の活動に青春を捧げた伊藤千代子。・・特高警察の弾圧・拷問、獄中の困難、夫の変節に絶えながら、闘いの炎を燃やし続けて、24歳で生涯を閉じた。・・

暗黒の時代の証言者—伊藤千代子の生きざまが、閉塞の今日を撃つ！

学習講演会

講師： 藤田 廣登 さん

「歴史の証言者・伊藤千代子」著者、

国賠同盟中央本部顧問、歴史研究者



日時： 5月30日（日）14時～

会場： エルパーク仙台5F、セミナーホール1・2

主催：国賠同盟宮城県本部 協賛団体：新日本婦人の会/婦人民

主クラブ/宮城民医連/国民救援会/民主青年同盟/（第1次分）



No.562号付録
宮城版No.384
2021年4月

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮城県本部

980-0022
仙台市青葉区五橋
1-5-13
県労連会館3F
国民救援会気付
☎022-222-6458

国会請願は、5月12日に
4月に力を集中して、国会請願行動
を成功させましょう

*あと5筆、10筆の署名にご協力ください

*お手持ちの「署名用
紙」を、支部又は県本
部に届けてください



【一】「生くべくんば民衆と共に、死すべくんば民衆のため」この言葉を生涯のモットーに、明治・大正・昭和の50年間を社会派弁護士として生き抜いてきた著名な弁護士・布施辰治。年5月、40歳の時に護士となる。1920年で生まれ、上京して弁護士となる。1920年5月、40歳の時に公表。以後の弁護活動を『官権の人権蹂躪に



【二】「生くべくんば民衆と共に、死すべくんば民衆のため」この言葉を生涯のモットーに、明治・大正・昭和の50年間を社会派弁護士として生き抜いてきた著名な弁護士・布施辰治。

1880年11月13日、牡鹿郡蛇田村（現・石巻市）

静岡袋井市長 原田英之
薄々知っていたことを、
このように突きつけられる
と胸が痛み、声も出ません。
すごい本です。



ご存知ですか？
布施辰治弁護士は、
石巻市蛇田の出身です！

（年金者組合太白文部の依頼原稿）

「治安維持法と朝鮮」を読み

東北大名誉教授

小田中聰樹

京都 弁護士 中島晃

前略御免下さい。

この度、貴著「治安維持法」と朝鮮」を拝読しました。

朝鮮侵略の歴史を正しく認識することは、非戦・平和の原点であることに改めて思いを馳せた次第です。

大石進さんも貴著の刊行をお喜びの事でしょう。

ご活躍とご健康をお祈り申し上げます。 草々

お送り下さい。

送られた冊子、テーブルの上に置いていたら来客が是非読みたいと持つていつてしましました。私の分含めて5冊

石巻では、1口10万円の制作協賛募金（上映債権）を出資し、200名の無料試写会を開催、その参加者に上映会の参加券を拡げてもう計画が話されました。

「戦争法」制定等、100年前の状況の再現を企てる動きも強まっている状況の下で、1925年制定の治安維持法下の凄惨な事態を繰り返させない為にも、過去ではなく現在のこととして製作・上映運動を推進する重要性について、確認し合うことが出来ました。

しかし、コロナ禍の見通しもはつきりしない中で、過去ではなく現在のこととして製作・上映運動を推進する重要性について、確認し合うことが出来ました。

「伊藤千代子」の知名度も高くはない状況は明らかなので、次の3点を確認しました。

「伊藤千代子」の知名度も高くはない状況は明らかなので、次の3点を確認しました。

しかし、コロナ禍の見通しもはつきりしない中で、過去ではなく現在のこととして製作・上映運動を推進する重要性について、確認し合うことが出来ました。

しかし、コロナ禍の見通しもはつきりしない中で、過去ではなく現在のこととして製作・上映運動を推進する重要性について、確認し合うことが出来ました。

II、5月30日（日）午後2時～エルパーク5Fで開催する「藤田廣登・講演会」を成功させる為に、協賛団体を拡げ、チラシで広範に知らせること。

III、「講演会」後に、改めて「第2回相談会」を開催し、『上映実行委員会』を立ち上げていくこと。

I、「伊藤千代子」のDVDを必要枚数用意して、各団体・各地域で無数の『DVDを見る会』を組織し、映画「伊藤千代子」の製作・上映の意味を理解してもらうこと。

映画「伊藤千代子の生涯」の『制作・上映運動』推進のための第一回相談会を4月2日に開催しました。冒頭、伊藤千代子が仙台の尚絅学院で学んだ時期に新思潮に出会い、大きく成長し、24歳の若さで亡くなつた彼女の生涯とその映画製作のプロモーション・ビデオ（DVD 20分）を観ました。

そして、国賠同盟県本部会長の挨拶と相談会の趣旨説明の後、尚絅学院大学と高校の元教員、民主文学同盟や国民救援会などの代表、石巻・塩釜・仙南・仙台の地域代表等、参加者の自己紹介が行われました。コロナ禍などの影響で全體の取り組みが一年遅れましたが、協賛募金も目標800口の4分の1を超え、竹下景子・嵐圭史さんなどの出演者も決まり始め、10月クラunkin、来年上映に向かって大きく動きだしていました。石巻での上演活動の取り組みの経験も話され、又、全県で8千人が参加した「小林多喜二の母」の取り組みとの違いなどについても意見交換しました。

しかし、コロナ禍の見通しもはつきりしない中で、過去ではなく現在のこととして製作・上映運動を推進する重要性について、確認し合うことが出来ました。

「伊藤千代子」の知名度も高くはない状況は明らかなので、次の3点を確認しました。

しかし、コロナ禍の見通しもはつきりしない中で、過去ではなく現在のこととして製作・上映運動を推進する重要性について、確認し合うことが出来ました。

「伊藤千代子」の知名度も高くはない状況は明らかなので、次の3点を確認しました。



原作「時代の証言者
伊藤千代子」
著者 藤田廣登

女性部・仙台支部学習会 第2弾
「日本近現代史を読む」⑩

女性部仙台支部合同
第10回近現代史学習会

「第二部 二つの世界大戦と日本」に入る。今回は、第8章「第一次世界大戦とロシア革命の影響」を学習。レポーターは横田有史さん。参加者11名。

今回は、日本が第一次世界大戦前後に、海軍を中心としてどう東南アジア・南洋諸島を侵略していくかを学んだ。

日露戦争を経て、ロシアの対的地位は低下し、露仏同盟が急速に力を失つていった。イギリスが、フランスはドイツへ日英同盟によつて、日本が決起したと言われる

スとロシアに接近、三極構造（英・仏・露）から二極（英仏露・独）に変容した。ドイツはトルコへの影響力を拡大し、バルカン半島に進出、ヨーロッパでの戦争の危機が高まつた。しかも歐米列強は、各國とも国家財政の30～40%を軍備拡張に投入。戦艦の大型化、機関銃と重砲等の大量生産・配備をした。アジアでは1911年辛亥革命により清が崩壊、1912年、孫文が指導する中華民国が成立したが、これ以後中国は、武装闘争と内紛を繰り返す時代になつた。こうした情勢が、日本を新たな段階に踏み込ませる要因となる。1913年ヨーロッパでの戦争が開始されると、日本

で参戦し、独艦艇掃討の要請を口実に、青島・山東鉄道・太平洋のドイツ領諸島（グアム島以外の赤道以北の南洋諸島）を占領、日本政府は英に対して「南洋諸島の永久保持を希望する」秘密文書（南進膨張の実現）を提出。1917年、日本海軍が地中海に巡洋艦1隻・駆逐艦8隻を派遣する。歐米列強がヨーロッパでの戦争で、アジアを顧みる余裕がないのに乘じ、日本は中國での独立権益の拡大を図つていった。1915年中華民国袁世凱政権に「對華21か条の要求」（山東半島のドイツ権益の継承・関東州長、満州南部と東部内蒙古の日本の優越権益の強化・中国政府への日本人顧問の

採用等々）5月に最後通牒を発し、顧問採用を除く要求の大部を認めます。（5月9日・国恥記念日）次の寺内正毅内閣は、袁世凱の死後政権に多額の經濟援助を行い、政治的及び經濟進出強化の布石とした。独の権益を日本が繼承することを、英・仏・露に認めさせます。1916年第4次日露協定（満蒙における相互の特殊権益擁護を強化）。1917年石井・ランシン格協定（満州における日本の特殊権益を米に認めさせる）を結ぶ。ロシア革命が起きると、1917年日本はシベリア出兵をし、1920年列強が兵の撤退後も日本軍はシベリアに居座る。

【一】大震災虐殺者追悼集会での布施辰治の訴え（1946年9月1日）「池に突き落とし：何度も手招きし…近くに来ると突き落とし…結局、溺死させる…」

1921年には自由法曹団の創立に奔走。23年9月1日の関東大震災の時の朝鮮人大虐殺問題（朝鮮人6千人以上、中国人7百人余）に関する、自由法曹団としての事実解明活動。前後して植民地朝鮮・台湾の人民救済活動は目覚ましく、1910年の朝鮮併合に反対

人が決起したと言われる「独立宣言事件」においては、11人の弁護活動に当たつている。

日本共産党への大弾圧の中、弁護士資格をはぐたた」という治安維持法違反で懲役2年の刑まで受ける。（新パンフ「治安維持法と朝鮮」横田著・参照）

第二次世界大戦の敗北で弁護士資格を回復された後、三鷹事件・松川事件・メードー事件などの弁護活動をこなし、1953年9月13日、73歳の生涯を閉じた。

1986年、石巻の菊田昇医師や親族らが中心になつて「弁護士布施辰治を顕彰する市民の会」を立ち上げ、「布施辰治生誕の地の碑」「布施辰治顕彰碑」などを建立するとともに、庄司捷彦弁護士らが中心になつて「布施辰治顕彰碑」などを建立するなど、顕彰運動を行つてきた。

（横田有史 記）



【三】「日本のシンドラー」『建国勲章』を授与されたただ一人の日本人

そして、無償弁護活動を展開した「日本のシンドラー」として朝鮮人に愛されてきた布施辰治弁護士は、2004年に生誕130年、韓国人で初めて大韓民国政府より「大韓民国建国勲章」を受賞した。毎年9月には顕彰碑のある蛇田南公園で、韓国総領事らも参加する記念式典が数年前から再開されている。

日本人で初めて大韓民国政府より「大韓民国建国勲章」を受賞した。毎年9月には顕彰碑のある蛇田南公園で、韓国総領事らも参加する記念式典が数年前から再開されている。

上)。1917年、露は独に大敗をしていたが戦争を継続、ペトログラードでの食料と平和を求める兵士と労働者のデモを契機にロシア2月革命が起ころる。臨時政府が戦争を継続していたが、10月「労働者・兵士ソビエト」が臨時政府を打倒、レーニンを指導者とする政府の樹立。「無賠償・無併合・民族自決」の原則による講和を呼びかける。マルクス主義を指導理念として、社会主義体制を目指す。初の社会主義革命の成功は、世界の革命運動・労働運動の活性化をもたらした。

1918年ドイツでは皇帝制が倒れ、ワイマール共和国が成立、1919年国際的な共産主義組織、コミニテルンが結成された。第一次世界大戦は世界をどう変えたのか、①ヨーロッパでは、露・独・オーストリア・オスマントルコなどの皇帝国家が崩壊②これらの大國の支配下にあつた諸民族が解放され、フィンランド・バルト三国・ポーランド・ハンガリー・ユーゴスラビアの新興国が成立③ウィルソン(米)・レーニン政権が「民族自決権」をかかげたことによって、諸民族の民族解放運動の活性化④ウィルソン大統領の提唱で「国際連盟」の結成⑤歐米列強は、アジア・アフリカにおけるナショナリズム(民族自決)の高揚には

世界大戦とロシア革命は、植民地主義・大国中心の国際秩序の根幹を揺るがした。

第一次世界大戦は世界をどう変えたのか、①ヨーロッパでは、露・独・オーストリア・オスマントルコなどの皇帝国家が崩壊②これらの大國の支配下にあつた諸民族が解放され、フィンランド・バルト三国・ポーランド・ハンガリー・ユーゴスラビアの新興国が成立③ウィルソン(米)・レーニン政権が「民族自決権」をかかげたことによって、諸民族の民族解放運動の活性化④ウィルソン大統領の提唱で「国際連盟」の結成⑤歐米列強は、アジア・アフリカにおけるナショナリズム(民族自決)の高揚には

正面から敵対せず、懷柔による既得権益を追求。力ずくの膨張主義から開放的手段に転換。⑥しかし日本は、

こうした新しい動きをとらえていく。日本は日露戦争での日本海海戦を主力艦決戦の典型として利用化し、大艦巨砲主義を突き進んだ。

第一次大戦後の大艦巨砲主義による軍拡競争は、英・米・日の対抗軸に。1921年原敬内閣時、海軍費は国家歳出の31%(陸海軍の軍事費は、一般会計の50%)を占めていた。10年間、戦艦の建造を停止するとしたワシントン海軍軍縮条約の締結がなされ、破綻は免れた。

1922年、10年間、戦艦の建造を停止するとしたワシントン海軍軍縮条約の締結がなされ、破綻は免れた。

▼私の親しい人の「メール」に「気分がすぐれない」とあった。今年正月早々、「10周年」と、ラジオが大騒ぎ。それは、「私は何もしなかった。できなかつた」と思い込む人には辛い数ヶ月だった。▼我々は「被災地」に居る。この間、「救援・支援活動」「自治体交渉」「裁判闘争」でも、メディアに出ない情報がたくさん明らかになった。多くの人が共有できる正確な情報を発信する事は我々の責務であろう。椎谷さん、ありがとうございます。

編集後記

▼3月28日「しんぶん赤旗」に、椎谷照彦氏(県同盟幹事・仙南支部長)の、「3・11」被災時の、住民の安否確認、避難所運営、情報発信などきめ細かい対応の記事が、掲載された。次の「被災地」候補が国中多くのあるなかで、とても励ましになる。

一九四一年(昭和十七年) 内外情勢		
1・2 日本軍、マニラ占領	1・18 日本軍、シンガポール占領	1・21 裁判所構成法に戦時特例を設け、「安寧秩序」の罪に控訴廃止の措置
2・2 小林陽之助、千葉刑務所で獄死(34歳)	2・11 山本懸蔵、ソ連で根拠のない嫌疑をうけて逮捕され(37歳)病死(47歳)	2・25 空襲(東京・名古屋・神戸)
3・4 第21回総選挙(翼賛選挙)西尾末広は政見の第1に「御國の為に血を流せ」をかかげる	3・6 米空母から発進のB型双発爆撃機16機が本土初空襲(東京・名古屋・神戸)	3・11 第21回総選挙(翼賛選挙)西尾末広は政見の第1に「御國の為に血を流せ」をかかげる
4・6 大日本言論報国会結成(会長 德富蘇峰)	4・12 ミッドウェー海戦、日本海軍敗れ、戦局の転機となる	4・19 在華日本人共産主義者同盟成立
5・1 ガダルカナル島から撤退開始	5・9 在華日本人共産主義者同盟成立	5・16 中國華北の日本人反戦団体代表者大会(延安)雑誌「改造」の論文で細川嘉六検挙
6・2 スターリングラードのドイツ軍降伏	6・19 石田精一、堀江邑一ら満州関係者検挙	6・23 朝鮮ソ連軍、スターリングラードで大反攻はじまる
7・2 兵役法つを改め、朝鮮にも徵兵制施行	7・21 大日本言論報国会結成(会長 德富蘇峰)	7・21 大阪商科大学の進歩的学者・学生ら検挙
8・2 国領伍一郎、堺刑務所で獄死(41)	8・23 大阪商科大学の進歩的学者・学生ら検挙	8・23 大阪商科大学の進歩的学者・学生ら検挙
9・3 一九四三年(昭和十八年) 内外情勢	9・3 一九四三年(昭和十八年) 宮城県内	9・15 一九四三年(昭和十八年) 宮城県内

年表 一九二八年(昭和三年)から一九四五年(昭和二十年)までの内外情勢と県内弾圧事件 作成 小田島森良

2021年4月号 不届561号付録(毎月15日発行) 1989年5月8日第3種郵便

一九四一年(昭和十七年) 宮城県内

2・19 東北帝大左翼学生グループ検挙	2・19 東北帝大左翼学生グループ検挙
後藤嘉七(20) 法文2年	高橋計也(24) 法文2年
野引勇(32) 東北帝大卒、鉱山労務課	宮川実(42) 立教大教授(経済学者)
川崎七瀬(24) 東北帝大	芦田英夫(28) 同 法文
佐久間一郎(24) 同 法文	藤本幸夫(25) 同 法文
佐藤忠夫(23) 同 同	津田賢太郎(27) 同 同
佐藤源三郎(70) 同 同	佐藤正(43) 同
中島代作(43) 日本聖教会	佐藤源三郎(70) 同
宗教家いっせいに検挙	宗教学家いっせいに検挙
藤本幸夫(25) 同	佐藤正(43) 同
須永重光(36) 東北帝大農研講師	農村協同体建設理論で学生を啓蒙で検挙
元東北帝大教授 服部英太郎(44) 検挙	元東北帝大教授 服部英太郎(44) 検挙
日大卒 会社員 田路周一(32) 検挙	日大卒 会社員 田路周一(32) 検挙
中大卒 会社員 大高隆太郎(28) 検挙	中大卒 会社員 大高隆太郎(28) 検挙
高橋實(31) 医師	高橋實(31) 医師
帝國農会参事 綿谷赳夫(25) 検挙	帝國農会参事 綿谷赳夫(25) 検挙
東北帝大学生 三宅定夫(27) 検挙	東北帝大学生 三宅定夫(27) 検挙
会社員 渡辺牧(31) 検挙	会社員 渡辺牧(31) 検挙
第七回基督教再臨仙台講義所代表者 池田斎(33) 検挙	第七回基督教再臨仙台講義所代表者 池田斎(33) 検挙

5・11・26 神奈川県特高、富山県泊町での細川嘉六つを中心とする小宴を共産党再建準備の会合とチッチあげて

田沢富夫らを検挙（泊事件）

5・15 コミニンテルン執行委員会幹部会、コミニンテルンの解散を提案

5・ アツツ島の日本軍全滅する

5・ コミニンテルン、正式に解散

5・ イタリア、ムッソリーニ政権が崩壊

5・ イタリア、連合国に無条件降伏

5・ 学生・生徒の徵兵猶予を停止（学徒出陣）

5・ 明治神宮外苑で出陣学徒壮行大会

5・ 11・10・10・22・21・2・22・26 米・英・中のカイロ会談（ルーズベルト、チャーチル、蒋介石）

5・ 11・28 米・英・ソのテヘラン会談（ルーズベルト、チャーチル、スターリン）

5・ 12・1 カイロ宣言発表

一九四四年（昭和十九年）内外情勢

1・1・29・14・1・29・1・45年6月 ソ連軍、レニングラード戦線で大反撃
1・20開放
（横浜事件） 「中央公論」「改造」の編集者ら検挙

1・6・6・15・6・6 連合軍、ノルマンデーに上陸（第二戦線を結成）

6・ 米軍、サイパン島上陸、6・19マリアナ海戦で、日本は空母、航空機の大半を失う。7・7サイパン島守備隊3万人全滅

6・ 政府、学童の集団疎開を決定

6・ 東条内閣総辞職 7・22小磯内閣成立

6・ 政府、学徒勤労令、女子挺身勤労令公布

6・ 日本軍、フィリピン・レイテ島決戦で敗れ陸海連合軍の主力を失う

6・ 24・23・18・30 サイパンを基地とする米軍爆撃機B29による東京初空襲

一九四四年（昭和十九年）宮城県

1・19 大東亜省所属 吉田寛一（33） 検挙

1・19 検挙日不詳 元プロレタリア美術家同盟員・元仙台消費組合常任書記 東 英滋（35） 検挙

12・29 塩釜市、B29一機による空襲、油脂焼夷弾5百個投下により消失戸数570戸、被災3千200人

一九四四年（昭和十九年）内外情勢

12・5 宮本賢治に無期懲役の一審判決（45年5月、これが確定判決とされ、6月に網走刑務所へ